

'94 くすのき
VOL.5

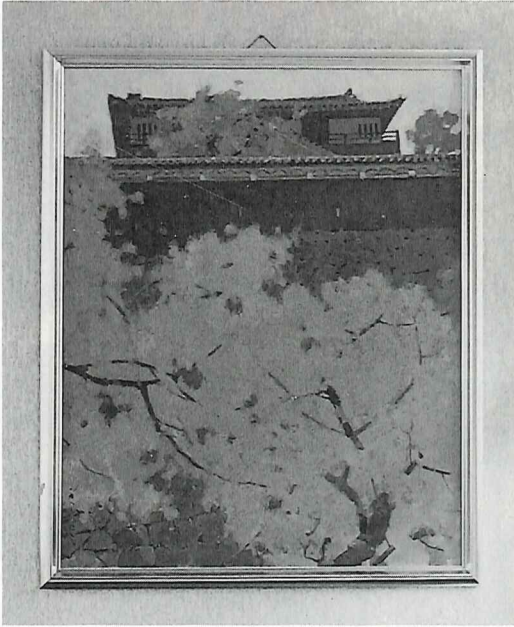
樟 樹

樟 樹 会
(新居浜西高等学校同窓会)

「明日もすばらしい日が訪れる」

～坂田虎一画伯 百号の大作～

記念の品々 画題「夕櫻」



「夕 櫻」
坂田 虎一 画伯



先ほどまでにぎ合っていた、夜のとぼりが下りようとしている。静寂に包まれている。これからの一時が、休息であり生命力が再び満たされる。

明日また沢山の人が訪れ、桜花を愛で心を和ませることであろう。

ところで、この大作「夕櫻」は学校の会議室の正面に向かって南側に架けられていて、明日のための計画や打ち合わせをする。この室によくマッチしている。

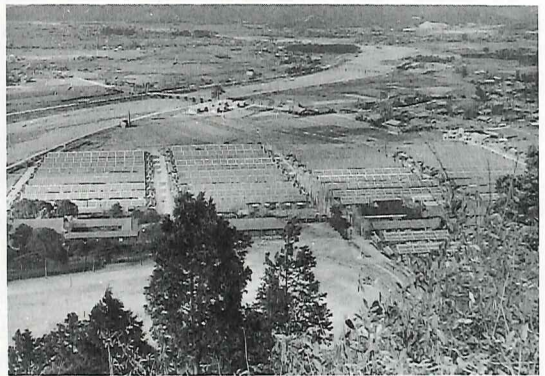
坂田画伯にお尋ねした（平成6年6月）これは11年前、松山城に登った時、夕暮の櫻に強く感動し一気に描き上げたもの。今までに二千枚は描いているが、記念すべき作品の一つに記憶されていた。

画 歴

明治39年 川之江市に生まれる
大正14年 上京、故牧野虎雄画伯に師事
昭和21年 川之江市へ帰郷、美術会結成
昭和27年 第1回県展洋画部審査委員
昭和50年 愛媛県教育文化賞受賞
昭和53年 勲五等瑞宝賞を叙勲される



現在の山根公園



30年前の新田社宅
(近藤昭三郎氏提供)

「山根公園には100余年の歴史がある」

ここは、銅製練所等の跡地である。鷺尾勘解治氏は、社員の生活改善を願って「自彊舎」を開講し、人格形成に努めていた。これを源流として昭和の初め「改善会」が、日曜日に自主的に「作務」に努め、大山祇神社をはじめ、山根グラウンドを完成させた。

戦前まで、5月には奉納相撲、11月3日には「親友会」主催の大運動会で東予地方の名物行事としてにぎわった。

表紙題字は、檜崎一光老師

写真は、一宮神社の一番樟（撮影：田尾忠士氏）

人は旧きに如かず 衣は新しきに如かず

樟樹会長
世良 誠 朗



めぐりくる卒業式、全盲の星加良司君のさわやかさは感動的であり、心に強くのこりました。校舎中庭の緋寒桜は万衆と花をそえ、閑静な雰囲気のなか歴史の変遷を見つめています。

私たち還暦をむかえた者にとり、若い世代の着実な価値観は着実に変容しつつあり、世代間の差を感じずにはいられません。

当時の学生時代の根性や辛抱といった言葉は、もはや美徳ではなくなっているようです。家庭を犠牲にして会社のために働くことは、外国との経済摩擦を悪化させてしまうとといったように……。しかし、時代がどの様に移り変わるとも、ふる里の風景や、学び舎は変わらないうでほしいものです。

この一年、日本弁護士会副会長就任、全盲の卒業生東大合格、お手玉クラブ活動の定着、定時制望洋会総会など飛躍の年に拍手を送りたいと存じます。

まさに隔世の感といえよう。人は旧きに如かず、衣は新しき如かず。人は気心のしれた古くからの知人が一番良い、といわれる同窓生の場づくりでありたいものです。

樟樹第五号は、皆様のご支援を賜り発刊の運びとなりました。ここに深く敬意を表しますとともに、改めて厚くお礼申し上げます。

星加君効果

学 校 長
石 川 良 治



樟樹の発刊は早くも五号になりました。

その間、樟樹を通していろいろな情報交換や人間関係が、更に深まったなど有益なことが多かったと思います。

さて、平成五年度は皆様方のご支援のお陰で、就職の面でも、また、進学でも最近にない好成績を上げることができ、大変喜んでおります。

特筆すべきことは、星加良司君が全盲という大きなハンデイトを乗り越えて、現役で見事東大に合格したことであります。教職員の努力もさることながら、良司君の頑張りには目を見張るものがあり、他の生徒達や、先生方にも大変な刺激になりました。それを皆は「星加君効果」と呼んでおります。全盲で普通科の高等学校から東大に合格したのは全国で彼が初めてだそうです。その努力の様子は、NHKテレビでも放映されました。その結果、全国各地から数多くの問い合わせなどもあり、新居浜西高の名はいやが上にも高まっております。

平成六年度も無事スタートして、一年生は学校にも慣れ順調にその歩みを進めているところであります。今年も昨年にも増して生徒たちと一緒に頑張っていきたいと思っております。

同窓会の皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

同窓生紹介

文化面、産業界など各界にわたり活躍されている

同窓生、同級生をご紹介するコーナーです。

演劇のこと

鴻上尚史(昭52年)

去年、久しぶりに演劇部の部室を尋ねました。十何年ぶりのことでした。

驚いたことと言うか、嬉しいことと言うか、部室は昔のままで、生徒会室の左隣、昔と同じ場所になりました。

本棚をのぞけば、これは悲しいことに、僕の学年で買っていた演劇雑誌だけが並び、その後のバック・ナンバーはありませんでした。僕が読んでいた文庫本もそのままありました。

部員の構成を聞けば、男子は一人もいず、女性も数人で、それも三年生が多く、このままだと廃部も冗談ではなくなるといふ現状でした。

僕はさっそく、辺りでうろろしている男子学生に声をかけ、勧誘を始めました。

しかし、考えてみれば、演劇が本当に面白いということに分かってもらうためには、本当に面白い演劇を見るしかないのです。

僕はその当時、文化センターに来る演劇を、それこそ食い入るように見ていました。

一ヶ月に一回か二ヶ月に一回、東京から来た演劇を、必ず見っていました。もちろん、つまらない作品もありました。しかし、演劇だけが持つライブ・生の魅力に溢れた作品も少なからずありました。

僕が、いつも不思議に思っていることに、生まれて初めて見た映画がつまらなくても、映画そのものがつまらないとは思わないのに、生まれて初めて見た演劇がつまらないと、演劇というメディアそのものをつまらないと思うてしまう人が多いという

うことがあります。

それは、つまり、映画のつまらなさとはなんとか耐えられるけれど、演劇のつまらなさは耐えられないということでもあるようです。

目の前で、生身の人間が繰り広げる物語がつまらないと、これはもう拷問に近いことだと思ってしまうのです。フィルムに向かって物を投げたくはなりません、えんえんと生身のつまらなさを見せられると殺意さえわいてくるということなのでしょう。

これは、結婚式などで、偉い人のスピーチがやたらに長く、やっと終わりかと思ったら、「さて、前置きはこれぐらいにして……」と続けた時に、感じる殺意に近いと思っ

ても、それはつまり、演劇というメディアの持つインパクトがどれほど優れているかということの証明だとも言えると思っ

それほどのインパクトがあるからこそ、本当に面白い演劇を見た時は、魂を揺さぶられます。ビデオのように記録として残らないからこそ、ひとつひとつのシーンが一生忘れられない映像として、心の中に残るので

す。「演劇とは風に記された文字である」という僕の好きな言葉があります。

僕は、演劇の面白さをまず、この小さな部室にたむろしている時に知りました。そして、幸いなことにそ



れを職業とすることができました。

映画を一度も見ないで人生を終える人はいないけれど、演劇を一度も見ないで人生を終える人はいらぬうなと思っ

演劇を職業としている僕には、それが残念でたまらないのです。ただし、だから演劇を見て下さいと言っ、初めて見た演劇がつまらないとそれは拷問になるわけです。でも見続けてさえ下されば、きっと本当に面白い演劇に出会うはずだと、僕は信じています。

◆鴻上尚史(こうかみしやうじ)◆

舞台の演出家、映画監督として、また、舞台への出演、あるいはテレビの司会など、多方面で活躍中。著書に「第三舞台」「鴻上の知恵」など多数。

十月からは、あいテレビの日曜朝、一時間の生番組「特盛鴻上井」のメインキャスターを務める予定。

池田洋一(昭和42年)

店舗 新居浜市中村1丁目6番25号(上西ビル1F)
TEL (0897) 44-5419
FAX (0897) 44-5419
夜間 新居浜市本郷1丁目4番26号
TEL (0897) 43-4365

IKEDA ギフティ池田

違いの認識と

日本の国際化

伊藤哲也(昭54年)

アメリカから妻(バーバラ)と愛犬二頭とともに帰国して、もう三年近くになります。

フリーウェイから眺めた、見渡す限り続くトウモロコシ畑、夏のThunder-Storm、そしてジョークの飛び交う職場のことなど、いろいろと懐かしく感じることも多くなったこの頃です。

私は、中西部(Midwest)を中心に、アメリカで一三年余りの生活を送りました。その間、様々な体験を積みながら、アメリカ合衆国という国、そこに住む人々について少しずつ私なりの理解を深め、生活に溶け込んで行きました。

アメリカ人の妻を持ち、日本とアメリカの両国籍を持つ息子(ジェームス・信玄)がいることもあって、アメリカ側の親族、友人、知人との交流も、いまだに日常生活の一部となっています。そんな私にとって、アメリカは外国というより、むしろもう一つの祖国に近い感覚です。

さて、原稿ですが『違いの認識』という考え方を中心にして、私なりの『日本の国際化』について述べてみたいと思います。

最近では以前ほど耳にしなくなり、うれしく思っている表現に、『われわれ日本人は…』というのがあります。表現される方は、日本人は皆同じ考え方をし、皆同じ感情を持っていると思っているのでしょうか。

私の息子のように、日本にも様々な外国の文化を受け継ぎ、この土地で生活を送っている人はたくさんいます。彼らは、教育、宗教の違いなどから、必ずしも一般的日本人と同じ考えとは限りません。今後、そのような日本人が、ますます増えていくことと思います。

日本は協調性を重視

一方、人種の坩堝といわれるアメリカに、このような表現はないかというところではありません。政治家が戦争を起こす前などに、国民の指示を得よう、愛国心を奮い立たせよう、とする際などに用います。湾岸戦争の時よく耳にしました。

で、『われわれ日本人は…』という表現は、その背景にある考え方が違うように思います。一般的に日本の教育(親、学校、社会で)は、個人そのものより、グループ内での個人を基本にしています。

つまり、協調性を大切なものとして教えています。私も例外なく、そう教えられました。確かに、協調性は大切なことで、世界に誇れる日本の治安の良さは、きつとこのような教育からきているのでしよう。

しかし、この協調性をあまり重要視し過ぎると、当然、個人的な自由

な発想、または、その考え方を他人に表現する機会も少なくなり、他人の違った考え方を理解しようとする姿勢にも、問題(欠陥と言ってもいいほど)が出てきます。

問題あり！から出発

そして、この考え方が強く進み過ぎると、往々にして『皆同じ』(少なくとも日本人は)という考え方に変わってしまいます。これに近い考え方が『われわれ日本人は…』という表現に、結び付いているのだと思います。アメリカ人の政治家が表現する『We Americans…』の背景には、『皆さんの考え方の違いはあるけれども…』という考え方があります。

国際化を目指す方にとって、この『違いを認識する』ということが、まず大切なことと考えます。『違いがある』と考えるのと、『違いがない』というのでは、そもそもその見方や、

問題の解決方法には天と地ほどの違いが現われます。

一つ具体的な例をあげてみましょう。皆さんよくご存じの、アメリカ人種差別(特に黒人に対する)問題の場合、その原点は『問題がある』です。そこから、様々な法律が作られています。

国際化は各個人から

本当の国際化の第一歩は『違いの認識』、『違いに対する尊重』を大切にし、むしろその違いを楽しむことにして受け止め、そこからお互いの意見をしっかりと交わすことによって、始まるのではないかと私は考えます。

またまりのない文章になってしまいました。国際化は個人レベルから始まると信じて疑いません。皆さん一人ひとりの考えから、始まるのだと思います。

帰国してしばらくの間、私の父が『外国では、何を食べるのか?』とか、『外国でも…:はあるのか?』と、妻と私に尋ねました。そのたびに私達は『外国ってインド?中国?それともカナダの北部に住むエスキモーのこと?』と、意地悪く問い返したものです。最近では『アメリカでは…』と、その違いをしっかりと認識しているようです。

◆伊藤哲也(いとつてつや)◆

アメリカでの経験を生かし、現在、新居浜市にある住友化学システムサービス(株)でコンピュータ技術者として活躍中。



インディアナ州にて愛犬と(アメリカ)

ワークショップ

稲井

☎33-8500

(昭42年 稲井本道)

ジーンズショップ



☎35-2000

小・中・高等学校制服指定店

稲井洋品店

新居浜市登道サンロード ☎35-2000

本部・支部だより



平成5年度総会及び懇親会

本部

- 平成六年度事業計画
- ▼4月13日、樟樹編集委員会（樟樹五号編集と原稿の依頼先について）
 - ▼4月27日、会計監査（平成五年度会計帳簿類監査）
 - ▼5月16日、樟樹編集委員会（五号編集内容について）
 - ▼5月20日、常任理事会（平成五年度事業報告 ◇平成五年度会計決算及び監査報告 ◇役員改選 ◇平
- 成六年度事業計画（案）審議 ◇平成六年度予算（案）審議 ◇会則の一部改正 その他
- ▼6月1日、理事会（5月20日の議事承認）6月15日、樟樹編集委員会（校正作業）
 - ▼6月27日、常任理事会（平成六年度総会について、日時、場所、議事、運営方法、会員券の販売、広告等）
 - ▼7月5日、理事会（6月27日の議事協議）
 - ▼7月11日、樟樹編集委員会（最終校正）

- ▼7月18日（樟樹五号発行）8月5日、常任理事会（総会開催について事前打合せ）
- ▼8月6日、樟樹会総会及び懇親会（場所エアーズコープ、時間17時30分から）議事 ◇平成五年度事業報告 ◇平成五年度会計決算及び監査報告 ◇役員改選 ◇平成六年度事業計画（案）審議 ◇平成六年度予算（案）審議 ◇会則の一部改正 その他、賞授与
- 引き続いて18時30分から同場所において懇親会開催、会費三千元）
- ▼12月中旬、常任理事会（平成六年度反省、平成七年度の予定について）
- ▼2月中旬、理事会（12月中旬の議事協議）
- ▼2月下旬、同窓会入会式（記念品贈呈）
- ▼3月上旬、卒業式において同窓会賞授与

会員からの便り(一)

「青春」

本宮和代（昭28年）

まわりの男性達は、どうもこの詩に魅了されていたようでした。

私達の高校時代は、戦後数年たつてはいましたが現在の学制への過渡期であり、物質的には本当に貧しい時代でした。それでも心は豊かで、何よりも、時間がタップリとありました。本を読むにも、スポーツをするにも、ほんやりと考え事をするにも、時間は充分あって、近頃のように慌ただしさの中で自分を見失ってしまうなんてことはなかったように思います。

意識したわけではありませんが、このところたてつづけに真っ赤なブラウスとTシャツを買ってしまいました。「赤」の似合う年齢となったようです。還暦だなんて：そんな：歳になるなんて若い頃には想像もつかなかったことです。

数年前、同期のAさんから「感銘をうけた」とコピーで送られてきたのはサミエル・ウルマンの「青春」という詩でした。

「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ：」で始まる五百字あまりの詩ですが、人生訓といった方がいらいちよつと骨太な男性的な詩です。（その頃

自然の摂理でどんなに地団太踏ん

— 総会及び懇親会の案内 —

日 時 8月6日(土) 総会 17時30分より
懇親会 18時30分から (当日受付ます)
場 所 新居浜市泉宮町 ユアーズ・コープ
費 3,000円

だとしても肉体は刻々と老いてゆきます。どうにもならないことです。でも、優しい神様はその人の自由になるように「心」だけは残しておいて下さいました。(心の中で思うことは自由で、誰にもどうすることもできません。)心のフレッシュユキはいくつになっても失われる事はないでしょう。

詩の言葉を借りて言えば
「人は信念と共に若く…」
自信と共に若く…
希望ある限り若く…

大地より、神より、人より、美と喜悅、勇気と壮大偉力との靈感を受ける限り人の若さは失われない」と。だからいつも「青春」の中にいたいと思っています。

同期の皆さん、
また集まりましょうね。

喜光地伏見稲荷由来

田坂初代(昭10年)

まず、お稲荷様の由来を申し上げます。まず先に、この伏見稲荷を八十五年前この地にお迎え致しました先代田坂基のことに触れさせていただきます。

父は二十六歳から戦後のパージの一時を除き、十期四十年村会議員・町会議員・市会議員を務め、在職中七十四歳で他界致しました。若い時分から地域の発展を第一に願い、

簡易上水道の設置、私設消防団の結成、私費をなげうっての街路灯の設置等、「世のため人のため」の信条を実践してまいりました。

芝居小屋基固久座を里芋畑の真ん中に建て、伏見からお稲荷様をお迎えしたのもその一つでありました。旧盆の十三日から十五日の三日間は稲荷市を開き、たくさんの屋台や露店が並び、近郷からの客でとても賑わいました。ちょうど別子銅山の華やかなりし頃で、料亭やカフェも軒を並べ、娯楽の少ない当時にあって、この界限は赤きネオンのともる一大歓楽街となりました。

その劇場経営が軌道に乗りにかけた矢先に、経営を一人で取り仕切っておりました母が四十四歳で急逝し、如何ともしがたいまま、小屋は人手に渡りました。その後何回か代替わりしたあげく、跡地はボーリング場になり、現在は建て売り住宅となっております。

十五年前、ふとしたことから、お須屋を建てて祀れとのお告げをいただきましたが、到底私の手に負えることではないと思ひ悩みました。しかしながら、我が家が倒産したとか潰れたとか言われつつも何とか持ちこたえ今日ありますのは、このお稲荷様が守ってくださったお蔭です。

一晩考えた末、叱られるのを覚悟で思い切つて主人に話しましたところ、「それは訳もないこと。早速大工に作らせて祀ろう。」ということになりました。

京都の神具店に立派なお須屋があることを申しますと、すぐ見に行くということになり、忘れもしません五十四年成人の日に二人で京都に行きました。御本社で昔先代のお受けした御神体の行方不明を詫び、子細を申し上げ、新たに御分神を私ども夫婦でお受けし、屋敷神としてお祀り申し上げることになりました。翌年、ある御方から旧御神体の返還を受け、現在は新旧の御神体を合祀いたしております。

その翌年、商店街のお世話人から稲荷市に開放してほしいとの依頼がありました。盆前の土日の二日間開放することになり、その後年々参拝者も増えてまいりました。それにひきかえ、喜光地商店街は別子の廃山と相まって寂れてゆきました。主人は、それを見るに忍びず、何とかしたいとの思いを抱くようになりました。生まれ育ち、長年製材業を営むことができましたのも土地の方々の



賑わう稲荷大明神

お蔭であると考えたと、その思いはますます強くなるばかりでした。そこで、この町の活性化の一助となり人々の心の安らぐよりどころとなりますことを念じ私財を投じて神殿を造営致しました次第でございます。なお、五十本の赤鳥居は皆様の浄財の御奉納によるものでございます。

父が受け夫が祭りて八十五年
喜光地の地に鎮座まします
そり美しき銅板葺きのみ社は
五月の日差しやわらかく反す
北山より移植の台杉八本は
すくすく延びて鎮守の杜なす

お手玉遊び大会

10月2日リーガロイヤルで

第三回全国お手玉遊び大会が、日本のお手玉の会(本部・新居浜市)の主催で、10月2日(日)、リーガロイヤルホテル新居浜で行われる。大会は、五人一組の団体戦、種目別の個人戦、創作自由演技など、三つの部門で技が競われる。団体戦には、小学生の部と一般の部がある。今年も、国際家族年でもあり、家族での出場を歓迎している。おばあちゃんを中心に、チームを組んで出場してみませんか。大会の詳細については、日本のお手玉の会事務局(089713610600)におたずねください。

ご結婚・ご披露宴・ご宴会・各種会議
ユアスコフ
YOURS COOP
〒792 新居浜市泉宮町5番8号
TEL (0897) 33-3535 FAX (0897) 33-5428

部活動の歩み

目標は全国大会への出場！

バドミントン部

西高バドミントン部の創設は県下の高校でも最も古く昭和26年頃だったようです。初代顧問は片上進先生で昭和26年に山口が国体高校男子の部に出場、昭和27、29年には女子団体がインターハイ出場、昭和30年にも女子複の笠井・佐伯組、同単の笠井がインターハイに出場しています。さらにその年の四国大会で女子団体優勝の好成績もおさめています。その後、現在に到るまで男女とも何回かの四国大会出場はあったものの、全国大会への道は厳しく、わずかに昭和42年に本校男子として初めて藤田・藤田組が複でインターハイに出場したと、昭和60年に小野・中山が国体少年男子の部への出場を果たした事だけが記録として残っています。

さて、現在西高バドミントン部は年間三回の公式戦(総体、国体、新人)に標準を合わせた練習計画を立て、毎日の練習に励んでいます。日常、使用コートはわずか男女各二面ですが、お互い協力してコートを有効に使用するように心がけています。コート外の練習も非常に重要なものとして位置づけており、短い練習時間ですが密度の濃いかなりハードな練習内容をこなしています。この数年、徐々に部員の意識も高まり、勝つことを目標とした部活動をする雰囲気が出てきました。それに伴わずに近づくにつれて、目標は全国大会出場です。部員全員のやる気と効率の高い練習内容で、練習量のハンデを乗り越え、近い将来必ず強豪校を打ち破りぜひこの目標を達成したいと思います。



全国大会出場を目指す女子部員

活気が出てきました。そして、先日行われた総体東予地区予選で男子団体は二位、女子は団体、単、複全種目優勝と好調な滑り出しを見せました。現在、来たるべき県総体での上位入賞を目指して、三年生以下全員一丸となって練習に励んでいます。

県総体
女子団体：ベスト4
女子複：… 菊川・松本ベスト4
女子単：… 松本ベスト4
(以上四国大会出場)
県新人大会女子団体：… ベスト4
◇平成五年
国体県予選男子単：尾田ベスト4
県新人大会
男子団体：準優勝
男子複：… 尾田・佐々木ベスト4
男子単：… 尾田準優勝
女子団体：準優勝
女子複：… 大津・三村ベスト4

◇平成三年

県総体
女子複：… 篠原・菊川ベスト4
(四国大会出場)

国体県予選

女子複：… 篠原・菊川ベスト4

県新人大会

女子団体：準優勝
女子複：… 菊川・松本ベスト4

◇平成四年

◇平成六年

国体県予選

男子単：… 尾田準優勝
女子単：… 大津ベスト4

アーチスト
心の自由人たちへ

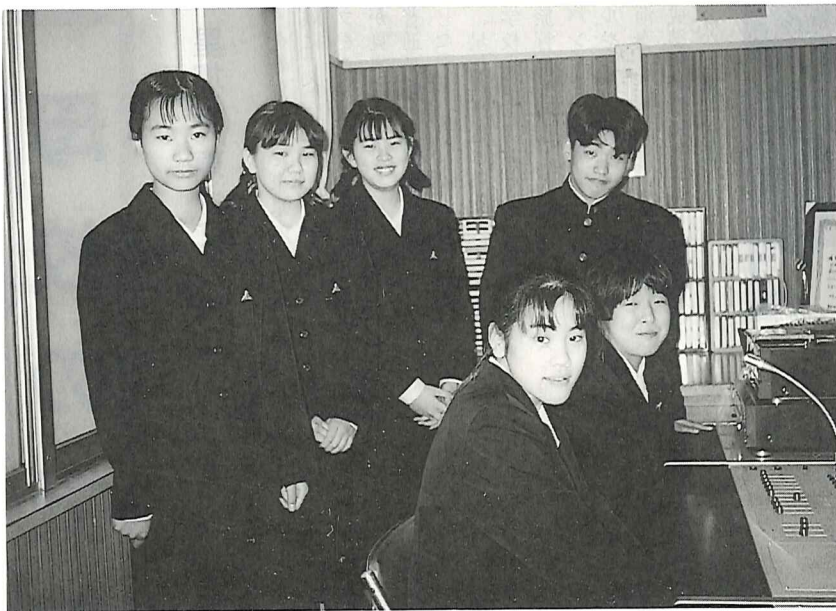
日野画廊
Gallery HINO

〒792 愛媛県新居浜市中須賀2-3-37
PHONE (0897) 32-5551

日野 功(昭和36年)

愛媛県大会で優秀賞受賞!

西高放送部 Ⅱ NBC



【現在、男子4・女子14人の部員で新しい歴史を築いている】

木造校舎の時代に

新居浜西高放送部は、「NBC」(Zink-kou Broadcasting Club)と呼ばれ、文化部の中で最も学校行事に関係が深い割には、活動状況がわかりにくく、「縁の下の力持ち」的存在です。

部の創設は、よくわからないほど古いようで、西高がまだ木造校舎であった時代の先輩方が、放送コンテスタに出品されたラジオ番組の制作台本や原稿が、セピア色に変色していますが、今でも部室に残っています。

放送部の活動は、昼休みの連絡放送、清掃時の音楽放送が日課で、毎日三〜四人で担当し、曜日によって特色を出した企画を考えてやっています。

なかよし・こよし

次に主な年間行事について順に紹介します。

まず、何と言っても一番大きな放送部の対外行事は、六月に行われる「NHK杯愛媛県高等学校放送コンテスト」への参加です。ビデオカメラを用いて一つのテーマに基づいて番組を制作し出品しています。最近では、平成3年度に出品した「なかよし・こよし」という作品が愛媛県大会で優秀賞を受賞し、全国大会に出場しました。昨年度は、シャボン玉を一人で11分12秒も吹き続けて、直径が七十五センチのシャボン玉が

割れるまでを「十一分十二秒」という番組にしました。

文化祭や運動会で

九月に行われる運動会でもアナウンスを担当していますが、グラウンド一杯に展開される迫力ある応援合戦や、大行進の陰に隠れてあまり目立ちません。

九月の文化祭では、運動会で撮った各団の勇姿を二時間にダイジェストして放映しています。運動会当日はもちろんですが、運動会の前日までの応援団員の指導の様子や、普段の学校生活では絶対に見ることのない真剣な表情がびっしり詰まっています。大変好評です。

十一月には、愛媛県高等学校総合文化祭放送コンクールや、全国各地の大学の大学祭放送コンクールに、ビデオ作品を出品しています。

全国高校文化祭に

卒業式や入学式などでも目立ちませんが活動しています。今年度は特に四月に行われる、新居浜市内の五高校親善野球大会のアナウンスと、八月に新居浜市で開催される「全国高等学校総合文化祭吟詠剣詩舞会」の放送を担当することになっており、多忙を極めていきます。

現在、男子四人、女子十四人の部員が、先輩方が築かれた西高放送部ⅡNBCの伝統を守り、新しい歴史をつくるべくがんばっています。

放送部顧問 渡辺和人

セットで
好評発売中!

御社の工程省略にどうぞ。

汎用CAD&CAMソフト

実寸法師

+

KOMATSU

ファインプラズマ
加工機

=

鋼板
直接切断

開発販売元
株式会社タイフ

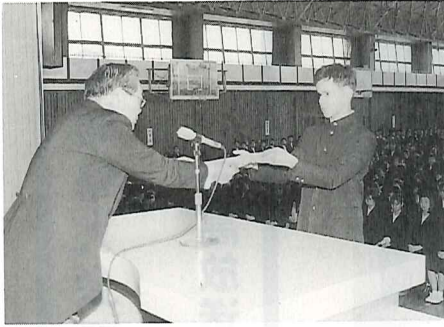
新居浜市坂井町2-3-17 新居浜テレコムプラザ 〒792
TEL:0897-32-9200 FAX:0897-32-6699

母校の概況

星加君、東大に合格！

今春行われた東京大学の入学試験に、全盲というハンディキャップを克服して、本校の星加良司君が見事に合格した。全盲の生徒が普通高校から現役で東京大学に合格したのは、全国で初めてである。

星加君は他の生徒と同じように学校生活を送り、宿泊研修、修学旅行にも参加した。また、ブラスバンド部に所属し、合奏コンクールや野球応援ではトランペットを演奏し活躍した。また卒業式には、成績優秀者に与えられる校長賞と、3か年皆勤賞を受賞した。



校長賞を受賞する星加君

卒業後のホームルームで星加君は、「入学したときは西高でやっていけるかどうか不安だったけれど、3年間やってくることができたのは、友だちの支えのおかげだと思う。みんながごく自然につきあってくれたのが一番の思い出になっている。」と、友だちに感謝の気持ちをあらわした。また、クラスメイトの高尾好彦君は、「星加君はわれわれの知らないところで大変な努力をしていたと思う。努力することの必要性、大切さを彼から教えられた。」と話している。

登山部女子、5年連続優勝を達成

6月3日から6日にかけて、愛媛県高等学校総合体育大会が松山市を中心に開催され、本校からも166名の生徒が参加し、各競技で熱戦を展開した。主な結果は以下の通り。

〔登山〕

女子団体 第1位
(女子団体は5年連続優勝)

- 〔サッカー〕
- 2回戦 新西0-0松工 (PK戦3-2)
 - 3回戦 新西1-0今東
 - 準決勝 新西0-1八工



県総体で活躍したサッカー部

〔バドミントン〕

- 男子団体
 - 2回戦 新西3-1松商
 - 3回戦 新西3-0松中
 - 準決勝 新西3-1新田
 - 決勝 新西1-3西農
- 女子団体
 - 2回戦 新西3-0松北
 - 3回戦 新西3-0弓削
 - 準決勝 新西3-0松中
 - 決勝 新西0-3新田
- 男子個人シングルス
 - 3回戦 尾田0-2西農
- 男子ダブルス
 - 3回戦 尾田・佐々木2-0西農
 - 準決勝 尾田・佐々木1-2西農

〈年間行事計画〉

3	3	3	2	1	12	12	9	9	9	7	7	7	6	5	5	4	月	
20	2	1	4	9	20	1	21	8	1	20	5	1	3	23	9	8	日	
3学期終業式	学年末考査(7日まで)	卒業式	部対抗駅伝大会	3学期始業式	2学期終業式	期末考査(6日まで)	西高祭(22日)	運動会	2学期始業式	1学期終業式	2年生修学旅行(8日)	期末考査(6日まで)	県総合体育大会(5日)	(25日大洲青年の家)	1年生集団宿泊研修	PTA総会	入学式、始業式	行事



株式会社 **アオノメガネ**

代表取締役 青野 泰三 (昭和32年)

■本店 新居浜市港町1-6 TEL(0897)34-5566 FAX(0897)32-7070
 ■西の端店 新居浜市中萩町2-60 TEL(0897)43-1234 FAX(0897)44-5500

女子個人シングルス
・3回戦 大津0-2新田
大中0-2新田

女子ダブルス
・3回戦 三村・大西2-1西農
大津・大中2-1東温

準決勝 松田・佐々木0-2新田
三村・大西0-2新田

大津・大中1-2新田

【卓球】
女子ダブルス
・1回戦 山下・星加2-0川石
・2回戦 山下・星加0-2済美

【ハンドボール】
・1回戦 新西10-16城南

【バレーボール】



・男子1回戦 新西0-2宇東
・女子1回戦 新西2-0今西

女子2回戦 新西0-2済美

【バスケットボール】
女子1回戦 新西44-62済美

【柔道】
男子団体 新西0-5宇東
男子個人 堀本〇-宇東

・1回戦 堀本〇-宇東
・2回戦 堀本〇-今南

【剣道】
男子団体 新西4-1松工
・1回戦 新西0-5新田

女子団体 新西4-1内子
・2回戦 新西0-5済美

・3回戦

【陸上競技】
男子4000mリレー 8位

【ソフトテニス】
男子団体 新西1-2松西
・1回戦 新西3-0野村

女子団体 新西0-2新東
・1回戦 新西0-2新東

・2回戦 片山・秋月0-4新東

女子個人

【弓道】
女子団体予選敗退
女子個人 大原(第5位)

激動する入試の中で 輝かしい実績

近年の大学入試は、国公立大学におけるA・B日程の減少、分離分割方式を採用する大学の増加、さらには

私立大学の一部も参加するセンターテストの実施など変化が激しい。こうした激動する入試の中で、生徒たちは西高の伝統を受け継ぎ、さらに飛躍させるべく努力し、輝かしい成績を収めている。特に、今年度は難関大学の合格者数が増加している。

最近3か年の合格者数と、その一部をここに紹介する。(数字は人数)

	(4年度)	(5年度)	(6年度)
国公立計	276	292	257
私立計	419	407	412
東京都	1	1	5
京都市	9	3	5
大阪大	10	6	8
神戸大	6	6	12
岡山大	24	37	14
広島大	5	5	12
愛媛大	59	58	50
九州大	8	13	10

新しく高橋教頭を 迎えた教職員異動

平成五年度の教職員異動は次のとおり。

教科	転出者	転出校	転入者	前任校
教頭	能智英男	退職	高橋正明	新工
教頭	藤井忠夫		尾野和夫	西条
(新居浜南高校長に)				
国語	三宅美紀子	三島	津村和芳	川江
			泉 幸恵	西条

二十名の同窓生が 母校の教壇に立つ

(氏名)	(卒業年)	(教科)
高橋 正明	S 29	数学
近藤 金四郎	S 31	英語
加藤 正義	S 35	保体
斎藤 美智子	S 39	実習助手
浦川 朱美	S 42	家庭
津村 和芳	S 46	国語
石田 伸一	S 46	社会
佐々木利夫	S 48	理科
品川 雅司	S 48	理科
松本 一明	S 48	英語
渡辺 和人	S 48	理科
河上 由紀代	S 49	実習助手
坂上 仁	S 50	保体
中川 文生	S 51	数学
岡田 緑	S 52	養護教諭
横川 佳久	S 54	数学
近藤 千晴	S 54	主査
鈴木 斎	S 56	英語
武智 優子	S 56	英語
永易 孝規	S 60	社会
藤田シカ子	退職	土居
伊藤文佳	丹原	川本美江(新採)
二宮昌子	西農	後藤一美 小松
原 栄一	伯方	滝口康二 松北
毛利公也	川江	和田美保(新採)
岡田孝哉	西条	
宇都宮生	八浜	
阿川 治	教七	村上 誠 大三
浅山裕子	松北	渡辺俊哉 今西
南 武夫	今西	嶋田光弘 土居

株式会社 SSK コンピューター

〒792 愛媛県新居浜市庄内町4-1-15
TEL (0897) 32-3211(代)

代表取締役 秦 憲 司 (普41年卒)
代表取締役会長 秦 一 子 (普17年卒)

◆新居浜の動き◆

100年前のエコロジスト

伊庭(いば)貞剛翁

「別子の山を緑の深山に戻し公害をなくそうとした男」

別子の山に緑が蘇った

平成6年2月23日伊庭貞剛翁の孫(長男の娘90才)菅沼綾子さんが新居浜の別子銅山記念館にこられた。館長の井上省二氏に「祖父にうれしかった事は何か、と尋ねると何時も懐かしそうに、別子の山に緑が蘇った事だよと……」彼女自身の事のように懐かしく語った。

明治27年2月(1894年)尾道から四阪そして新居浜口屋、登道、山根、端出場、東平、銅山峰越えし、旧別子に赴任し、道中別子の山を一望し真近に視た時、全山は芒漠とした死の山々の連なりを眺め、これを彼はどう思ったであろう。

伊庭の実際の行動は明治28年、山根精錬所を閉鎖し、四阪に移転決定したことであろう。

この公害排除の努力を、当時、足尾銅山の鉱毒問題で闘っていた田中正造は「伊予の別子銅山は鉱業主、住友なるもの、社会の義理を知り、徳義を守れり」と、伊庭の決断を絶賛し足尾の経営を批判している。現在足尾の山は国の費用で緑化に取り組んでいるところである。

最初の別子の植林は嘉永3年(1850年)杉苗を広瀬幸平が植えており、これが住友の植林事業の始まりである。

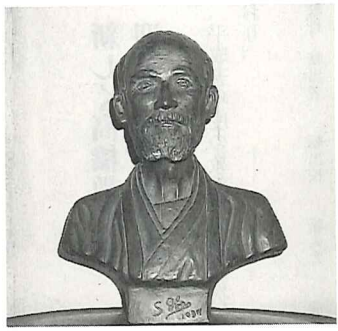
次に伊庭が別子の山地の荒廢を嘆き「報国土」のスピリットを職員に訴えた。明治27年に大造林計画を建て実行した。在任中の5年間に45町歩、植林本数で395万本と極だっていた。その後38代目支配人鈴木馬左也により、近代林業経営が確立された。今までに住友が別子を中心に植林した総面積は昭和42年までに16,728町歩(新居浜市の総面積160km²に相当する)また、戦前国外での植林は264.5km²に達していた。

「住友の森エコシステム」をテーマに「記念広場」と「フォレストハウス」開設(平成5年・11月)

林業ゆかりの地別子山村中七番は、市内から約25分、車で1時間、大永山トンネルを抜け少し行くと、シラカバ林とアヤマメの中に、ゴシック風の建物が見える。

これは住友の森づくりに力を注いだ先人達の偉業をたたえ、へ木を植えた人々(森林技術者)にちなんで

名付けられた、フォレストハウスと記念広場であります。他に旧別子メモリアルゾーンなど1,890haを対象にしている。



別子銅山記念館蔵

住友の先人で新居浜の恩人伊庭翁は100年前「保続林業 Sustainable Forestry」すなはち自然の摂理や能力を壊さずに、成長力の範囲で永続的に資源の育成利用を繰り返す「持続可能な開発」を実践したのである、この思想はどこからきたのだろうか。興味のあるところである。

住友の創始者は仏道に帰依しており、これが住友の事業理念の基本であり、この事と彼自身の思想が一致した。

伊庭翁に一度お目にかかった、作家によると、淡々として水の如き真に、「平常心は道」といった感じを受けた。即ち平常心が全体を支配している境涯に達している。これは、我山和尚と禅を通じ深い交わりを結んでおられたところから、翁の思想は禅によるものでなからうか。5年後の明治32年(1899年)

2月、別子を後に大阪本店に帰任し、住友のナンバーワンとして5年間(58才まで)活躍した。

しかもこの時こそ、住友にとつては近代化施策の実行、多角経営、国家社会との関係を示し近代資本主義体制に住友の精神的土壌を形成する、最も重要な時期であり、新居浜との関係も深まったと考えられないだろうか。

伊庭翁の書籍「幽翁」より

◇難事に際して一般的には熟慮断行だが、彼は常に「熟慮、折念、放下、断行」の過程を踏んでいる。

◇「君子愛財取之有道」君子財を愛す、これを取るに道有り」これは精神力と物質力が絶えず調和しなければ、人間の努力も真の成就にいたらないことを表わしている。

◇人柄を「徳の力」と「達人的眼識」前者は度量の広さ、後者は適材適所に人を配し、命を下した後は全責任を自分が引き受けた。

◇「少壮と老成」総理事を辞す5カ月前の随想、老人の保存との少壮の進取とは兎角相容れない、そこで調和をはからねばと続き、役割は、老人は注意役、青年は実行役、成功はあせつてはならない、一生懸命に人事を尽くすなら、天地の理法として、成功は、自然に来るものと結んでいる。

滋賀県石山において「悠々自適」に晩年「曠然自適」とし、「老」を「晚晴」の二文字で80才まで筆を揮われたという。

寿司 稲福本店

新居浜市若水町1-9-8(登道) ☎33-1729

歴史が息づく あかがねの里 東平オープン

四国山地、赤石山系の山中にかつて世界に誇る銅山の一つである別子銅山がありました。

そして今、採鉱技術の近代化とともに歩み続けたこの地が、マイントピア別子東平としてよみがえりました。

大自然のなかで、誰もが銅にふれ



東平マイン工房

ながら学びと遊びを同時に体験できる夢空間となっています。

山根総合グラウンドから約15kmの山腹にあり、自然が多く残る風光明媚なよいところです。市内から車で

約40分で行けますので、是非一度訪れて下さい。

新たなスタート 市立「くすのき園」開園

国道11号線、西河橋から南へ向かい山裾を目指す。約2キロ、のどかな田園風景の中、やがて松山自動車道（高速道路）が見えてくる。その少し手前、緑豊かな木立ちに囲まれた小高い所に「くすのき園」がある。

平成6年4月1日、愛媛県18番目の精神薄弱者更生施設として新居浜市立「くすのき園」がオープンした。「くすのき園」は、それまで精神薄弱児施設であった市立新居浜学園の老朽化を発端に、最近における保護者の在宅志向による入園児の減少、また市内の成人施設入所希望者の増大という今日的な社会要望を満たすために、児童施設から成人施設に生まれ変わったのだ。

成人薄弱者更生施設は元来、知的障害者を入所させ、職業訓練、生活訓練等を行うなど、社会復帰をさせるための施設であるが、現在、その施設の内容や目的も若干違ってきている。

重度入所者のほとんどが、自閉症などの情緒面での障害で対人関係を形成する能力に欠けており、言葉がなく、対話による理解はできない。当然、施設職員の指導は、園生の排

泄、洗面、着替えなど、最も基本的な生活習慣の訓練から始まる。いまや更生施設は介護施設的な役割を担っているのだ。

くすのき園の重度棟定員40名（定員60名）に対し、46名もの重度知的障害者が入所している。職員も46名、60名定員の園生の数を考えると、同規模の他の施設より職員はずっと多い。重度入所者に対するマンツーマン的な介助が必要なためである。職員は交替で園生を1日24時間体制で園生を介助、指導しているが、その業務は、大変きつく、責任も重大である。言葉では自ら体調の不良を訴えることができない園生の健康や食欲、ちよつとした動作、表情に気を配らなければならない。朝6時の起床から、夜9時の就寝まで、一時も気を許せない。

特に夜勤者は当日午後5時から翌日の午前9時までには3人の職員で60名を見なければならず、夜勤は精神的にも最も疲れる、厳しい業務だが、半面やりがいもあるという。

「くすのき園は子供の施設から大人の施設にかわつたが、その福祉施設としての役割と重要性はなんら変わっていない。これからも、地域の知的障害者の心の支えとして、この園を必要とする人達のために頑張っていきたい。」と新居浜学園時代の福祉最前線として、数多くの児童の社会復帰に大きな役割を果たしてきた

た新居浜学園は、超高齢社会を迎えた今日、21世紀を目指した「生きがいとふれあいあふれる福祉創造都市」づくりの施設として、今年4月、「くすのき園」は、新たなスタートを切った。

市役所前から 電柱が消える！

平成5年度から、新居浜市の市役所前約300mの間において、電線の地中化事業（キャブ化事業）が始まりました。キャブとは「Cable Box」の略で、U型のコンクリート製の箱を歩道に埋設し、この中に電線を敷設するものです。都会においては以前から進められていたのですが、地方都市においての事業化は初めてのことです。四国でも現在のところ高松、松山などの県庁所在地で行われていません。

今までのキャブ事業は、電力需要の大きい所で行う施工できない事業でしたが、平成5年度から建設省の基準が変わり、市役所前での施工ができるようになり、このたび工事着工することになったものです。これにより、道路上の電柱がなくなり、景観の向上を図ろうと言うわけですね。この記事は、新居浜市役所道路建設課で当事業を担当されている、源代俊夫氏（普46）と小山京次氏（普53）に書いていただきました。

蝶満波亭料

藤田直孝（昭58年）

新居浜市中須賀1丁目3-27 ☎33-2810代

会員からの便り(二)

バスケット部創設のころ

飯尾幸弘(昭27年)

昨年、還暦を迎えた昭和27年卒業組の同期生は、戦争・敗戦・食料難など混沌のなかで、中学から高校にかけての青春時代を過ごした。

私の場合、新居浜中学校(旧制)→新居浜第一高等学校併設中学校↓新居浜高等学校と変わり、男女共学と校区制で元女学校の新居浜西高等学校へと転校。

こんな激動の昭和23年、若い熱血教師・糸野先生の呼び掛けで発足したのが、当時の新居浜東高等学校バスケット部。



愛媛県大会で優勝 昭和25年

当時の写真の足元をよく見ると、下駄ばき、地下足袋、ズックという。服装もまちまちです。

もちろん、正規の体育館などはない、公式試合も石ころゴロゴロのグラウンドを、ハダシで跳んだり、走り回っていました。

ボールも、使っているうちに皮がすり減って、カボチャのように変形拡大し、リングを通過しなくなるまで、自分たちで修理をして大事にだいに使いました。

成績は連戦連敗でした。しかし、かゆ腹でよく練習し、青春のエネルギーを発散しました。

学制改革と校区制の変更から、メンバーの約半分が新居浜西高等学校に転校し、西条高校からの転校組と合流して、新居浜西高等学校男子バスケット部が、昭和25年に誕生しました。

女子のバスケット部は、そのときすでに存在しており、新設の男子バスケット部と、統合することになりました。

ユニホームの色を緑に決めたり、シンボルマークのデザインを考えたり、県下でも有数の器械体操の設備を持つ体育館を、許可なく改造したり、とにかく忙しい毎日でした。

苦勞の甲斐あって、愛媛県大会で優勝して県代表にもなりました。一

時は、練習がままならないほど部員が増えた時もありました。貧しくても、元氣いっぱいこの当時が懐かしい。40年前の創設当時のメンバーには、残念ながら物故者もいますが、当時のみなさん、一度集いませんか。

女学校卒業

五〇周年記念同期会を

迎えて

松岡美代子(昭19年)

前夜の雨が、今朝は快晴。5月18、19のこの日を特に祈念し待った甲斐があった。参加の皆さんは、きつと足よりも軽いことだろう。

会場は、道後のメルパルク松山。午後六時の会の準備に丁度三時チェックインする。早速新居浜より三名到着。旧交を暖めている間に、懐かしい顔がそこそこに揃い始めた。驚き、喜びを交えた声が、ロビーに響く。

急いで受付に着く。同期生全員の名簿と記念品の竹籠を渡し、集金、部屋割はくじで行い、45名無事終了。慌ただしかった三時間、でも一安堵。

六時から記念撮影にかかる。女学制時代に返り「〇〇ちゃん」と呼びながら並ぶ。皆な笑顔で、ハイポーズ。

プログラムに添って開会挨拶。物故者13名への黙禱、ご冥福を祈る。

乾杯の音頭でやっと食事につく。此処は食通の方がよく利用するらしく、見て良し、味良しで、皆さんご満悦顔。

食事中、自己紹介を始める。先ずは初出席者三名前に立ち、近況報告する。年月の距りはありながらも、皆年齢より若く感じた。暖かい拍子を送り喜び合った。続いて欠席者の葉書に依る近況報告、代表一名のみとし、残りは希望者に渡して廻してもらった。

出席者の自己紹介には、名前を呼ぶ。「ハイ」と大きな声、笑顔で応答。パフォーマンスあり、ユーモアありで、場がなごいだ。

落ち着いた頃、お手玉遊びに移る。昔流行った「日露戦争」や「おさら」の歌に合わせ、二つ玉、三つ玉を振った。あちこちに輪が出来、真剣に遊ぶ。こんなに童心になれるお手玉はすばらしい。何時までも伝えたいものだ。

これからが待望のアトラクション。ジャンケンして、小品が全員に当たるゲームだ。可愛い貝殻の和紙雛、お盆、銘々皿、懐紙、色紙である。この品々は、松山有志からのプレゼント。

最後の目玉賞品一点は、矢野信子さん自作の和紙人形で、題名は「雅」ガラスケース付きで立派な品。その矢野さんが前に立つと、一瞬、シーン。「今日は大安であり、開催日の18日をとって18番の方です。」と言うと、すぐ前に居た隅田さんが飛び

桑原運輸株式会社

代表取締役 桑原 征一

新居浜市西原町3-2-1 TEL(0897)35-1111
FAX(0897)34-2334

上がり、嬉しいの連発で矢野さんに抱きつき大はしゃぎ。皆で「おめでとー」の拍手を送った。後でカメラに撮ったり、手に取ったりして、眺めながら、すばらしい作品に見惚れていた。

終わりに、校歌を歌って閉会した。夜は、気持ちよく温泉につかり、遅くまで、親しく友と語り合った。

翌19日も快晴。七時に朝食、9時に貸切バスで市内観光へ。子規記念博物館。竹工芸センター・矢野長ではすばらしい工芸品に見入る。お土産は買い砥部陶芸館へ向かう。昼食は



女学校50周年記念同期会を迎えて

砥部真砂家にて、和食でくつろぐ。子規堂見学では、子規について認識を再び深める。カスリ会館は最後だ。工夫された品々に感心し、ついつい買ってしまふ。可愛いガイド嬢の説明も楽しく、旅を飾ることが出来た。終着となった松山駅で、再会を誓いつつ別れを惜んだ。

好評の此の会も来年は名古屋と決まり、バトンを橋本セイ子さんに渡した。最後にあたり、此の会の成功を支えて下さった方々、本当に有難う。よき友に恵まれて感謝です。いついつまでもお元気で、再会を祈りつつ……。

お知らせ

◆白川正之先生(75才) 叙勲(勲四等 旭日小綬章) おめでとーございます。

先生は昭和27・38年の間英語教師として私達に教鞭を取られ、そのかわら英語の研究をされました。現在は工専の名誉教授ならびに愛大の講師であります。

◆女学校14年理事徳水マリ子さんは、長年にわたり、本校の茶道指導者として、生徒の人格形成に格別尽力されました功績により、昨年の2月23日、茶道裏千家家元利休居士十五世千宗室から感謝状を贈られました。会員一同心からお喜びを申し上げます。

◆近畿くすのき会長加藤幸則(昭26

年)さんは、この四月大阪弁護士会会長に選出されました。お喜びを申し上げ、今後のご活躍をお祈りいたします。

◆昨年11月望洋会会長山本健十郎氏から、定時制教育振興のため学校へ五万円を寄付いたしました。

◆昭和52年同期会一同から、同窓会活動の一部として一萬円の寄付がありました。ありがとうございます。

◆女学校部会理事の田坂初代(昭10年)さんから、樟樹発行費用にと、二万円の御芳志を頂きました。

クラス会ご案内

小女郎会(昭49年)

日時6年8月13日(リーグロイヤル) 幹事 明智和彦(45-0255)

昭50年卒業同期会

日時6年8月13日(土) 17:30から(リーグロイヤル) 会費:八千円
問い合わせ先 坂上仁
0897-41-4369(自宅)
0897-37-2735(学校)



受賞記念会場にて(徳水マリ子)

予告

昭和41年クラス会開催年は平成8年(オリンピックの年)です。
幹事 矢葺博、森戸みや子、高橋英吉、山内仁

編集後記

☆星加良司君おめでとう。

あなたは、多くの方々との最良の関係で、すばらしい教育を受けられた。そこには、お母さんの息の長い愛情があればこそと、テレビを見て感動しました。同窓生として自慢でき、私達もいや多くの身障者の方も勇気付けられたことと思います。お体に気を付けて頑張ってください。

☆各地で水不足が報道されている。今、新居浜の水はどうだろうか? 降雨量の約3分の1に当たる六千トンが地下水(伏流水)になって利用されています。しかし、この「地下水」の、上流には、戦後に造られた「鹿森ダム」、もう一つ「緑のダム」、伊庭翁の植林が実り、降雨量の20%を一時保留するといわれる森林のおかげで、当地では水不足の心配はないと言われています。

☆伊庭翁の来新の頃は、近代産業の勃興期であり、当地でも関連産業が創業され、当地の青野海運をはじめとし、愛媛の観光のシンボル道後温泉本館等、百年を迎える。



編集委員(山根公園にて)

同窓会誌「樟樹」第五号

- 会長 世良 誠朗(昭26)
- 副会長 青野 泰三(昭32)
- 近藤 永恵(昭16)
- (女) 部会長 藤本スズ子(昭18)

- 編集委員長 安藤 正純(昭30)
- 委員 武田 信之(昭28)
- 加藤 明男(昭28)
- 下村 隆勇(昭30)
- 藤田 石根(昭31)
- 加藤 正義(昭35)
- 近藤 博司(昭44)
- 伏見 紀子(昭44)
- 石田 伸一(昭46)
- 津村 和芳(昭46)
- 水易 孝規(昭60)

発行所 「樟樹会」

〒七九二 新居浜市富田町四一四六
TEL 〇八九七-三三四三三
FAX 〇八九七-三三四三三
発行者 安藤 誠朗
編集者 世良 正純
印刷所 エビー株式会社
発行日 平成六年七月一八日